

## 第67回 静岡県整形外科医会集談会

日 時 昭和60年3月9日(土) 午後3時  
場 所 沼津キャッスルホテル2F 「葵」  
沼津市三枚橋日の出町396-5

### 16. 上腕二頭筋長頭腱近位部皮下断裂の3症例

静岡県立総合病院整形外科

武田 信巳・浜本 肇

岩瀬 方人

兵庫県立尼崎病院整形外科 芦田 一弥

症例1. 65才, 船員, ベニヤ板を回外位にて持ち上げて左上腕痛を来す. 受傷13日目に手術し, 経過2年で上野の評価「優」である. 症例2. 66才, 農婦. ナタで桑の木を切って右上腕痛を来す. 受傷7週目に手術し, 経過2年で「優」である. 症例3. 67才, 農夫, トラクターのエンジンをかけようと紐を引っ張って右肩関節痛を来す. 受傷3週目に手術し, 経過3カ月で「良」である. 本症の治療は放置法, 保存法あるいは観血法いずれを選択するかが, 論議のあるところである. 3症例とも高令であるが, 利腕の筋力を必要とする筋肉労働者なので, 早期原職復帰を実現させるため手術を施行した. 手術法は, 断裂端を結節間溝壁に穴を開け縫合固定するヒッチコック法に準じた. 我々は侵襲が少なく, 長頭腱がより解剖学的走行を得て, 屈曲及び回外筋力が増強し, 筋の緊張度も決め易い本法を採用した. 中枢側遺残腱の処置は, しなかった. 3週間の固定後, 後療法をしたが経過良好であった.